

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年3月19日(2025.3.19)

【公開番号】特開2023-91870(P2023-91870A)

【公開日】令和5年7月3日(2023.7.3)

【年通号数】公開公報(特許)2023-123

【出願番号】特願2021-206711(P2021-206711)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月11日(2025.3.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
 前記有利状態に制御されることを示唆する所定表示と、前記所定表示に関連する関連表示と、を表示可能な表示手段を制御可能な演出実行手段を備え、  
 前記所定表示は、少なくとも第1所定表示を含み、  
 前記第1所定表示は、前記表示手段における特定表示領域に向かって移動する態様により表示され、  
 前記演出実行手段は、

通常態様で表示した後、前記通常態様が反対色となった特別態様にて表示する特別演出を実行可能であり、

前記第1所定表示が前記特定表示領域に移動した場合に、前記第1所定表示を対象とした前記特別演出を実行可能であり、

前記第1所定表示が前記特定表示領域に移動した場合に、前記関連表示を対象とした前記特別演出を実行可能であり、

前記有利状態の可変表示において前記特別演出が実行される回数よりも、通常状態の可変表示において前記特別演出が実行される回数の方が多くなるように実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
 前記有利状態に制御されることを示唆する所定表示と、前記所定表示に関連する関連表示と、を表示可能な表示手段を制御可能な演出実行手段を備え、  
 前記所定表示は、少なくとも第1所定表示を含み、  
 前記第1所定表示は、前記表示手段における特定表示領域に向かって移動する態様により表示され、

50

前記演出実行手段は、

通常態様で表示した後、前記通常態様が反対色となった特別態様にて表示する特別演出を実行可能であり、

前記第1所定表示が前記特定表示領域に移動した場合に、前記第1所定表示を対象とした前記特別演出を実行可能であり、

前記第1所定表示が前記特定表示領域に移動した場合に、前記関連表示を対象とした前記特別演出を実行可能であり、

前記有利状態の可変表示において前記特別演出が実行される回数よりも、通常状態の可変表示において前記特別演出が実行される回数の方が多くなるように実行可能である。

対応図面：図84～図88、図95等

10

この特徴によれば、特定表示領域にて第1態様から第2態様で表示することで所定表示が特定表示領域に表示されたことを好適に伝えることができつつ、所定表示を強調して表示できるため注目させることができる。

20

30

40

50